



デング熱

潜伏期間は2～14日（多くは3～7日）で、急激な発熱で発症します。典型的な症状は、発熱、発疹、頭痛、関節痛、嘔気・嘔吐などですが、発熱以外の症状を認めない場合もあります。また、発症時には発疹はみられず、皮膚の紅潮がみられる場合があります。

ワクチンや特異的な治療はなく、発症後は患者の症状に応じた治療（対症療法）になります。

ヒトからヒトに直接感染する病気ではありませんので、蚊に刺されないこと、蚊を発生させないことでデング熱の感染を予防できます。

ヒトスジシマカ（媒介蚊）



予防方法は…

- ◇ 刺されやすい場所（茂みのある公園や庭の木陰、竹林の周辺、墓地など）へ外出する時は、長袖・長ズボンを着用し、肌の露出を避けましょう。
- ◇ 肌が露出する部分に虫よけ剤を塗ることも効果的です。
- ◇ 蚊の幼虫（ボウフラ）は水たまりに発生します。住まいの周囲の水たまりをなくしましょう。

【参考】厚生労働省ホームページ「デング熱について」

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-ka nsenshou19/dengue_fever.html

中東呼吸器症候群(MERS)

MERS は2012年に初めて確認されたウィルス性の感染症です。主に、中東地域(サウジアラビア、アラブ首長国連邦など)や韓国で患者が報告されています。

日本では平成27年1月21日から、感染症法において二類感染症に指定されています。

潜伏期間は2～14日で、無症状例から急性呼吸窮迫症候群を来す重症例まであります。典型的な症状は、発熱、咳等で、急速に肺炎を発症します。特に、高齢の方や糖尿病、慢性肺疾患、免疫不全などの基礎疾患のある人は重症化する傾向があります。

現在、MERS に対するワクチンや特異的な治療はなく、発症後の治療は対症療法になります。

MERS の感染経路はまだ正確には分かっていません。家族間や医療機関における患者間、患者-医療従事者間など、濃厚接触者間での感染は報告されていますが、次々にヒトからヒトへ感染することはありません。

【参考】厚生労働省ホームページ「MERS について」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/mers.html>

HIV/エイズ出前研修の実施について

石川県立中央病院 HIV 医療チームスタッフによる HIV/エイズ出前研修が本年度も実施されます。HIV 感染症に関する基礎知識、感染対策、感染者へのケア等について知識を深めるチャンスです！

研修対象: 研修を希望する医療施設・介護・福祉施設

研修期間: 平成27年8月～平成27年11月の月～金曜日

申込方法: 6月30日（金）までに申込書を送付

*** 詳細は別添資料をご覧ください ***

福井県感染症発生動向調査速報

（第18週 H27年4月27日～第22週 H27年5月31日）

2類: 結核 8名 (0名)

3類: 腸管出血性大腸菌感染症 2名(0名)

5類: 侵襲性肺炎球菌感染症 2名(0名)

アメーバ赤痢 2名(0名)

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2名(0名)

後天性免疫不全症候群 1名(0名)

* ()内は若狭管内の発生

【発信者】 若狭健康福祉センター

地域保健課 宮下

TEL:0770-52-1300 FAX:0770-52-1058

メール:w-fukusi-c@pref.fukui.lg.jp

※こちらのチラシは当センターホームページからダウンロードできます。